

サイム・ダービー(SIME)

インダストリアル事業、自動車事業ともにオーストラリアと中国が堅調。中長期で中国の高級車需要が追い風へ

マレーシア | 自動車卸売 | 業績フォロー

Bloomberg SIME:MK | REUTERS SIME.KL

- 2020/6期4Q(4-6月)は、売上高が前年同期比5.4%減、純利益が同3.8%減だった一方、一時的要因を除くコア純利益は同2.9%増。
- インダストリアル事業は、売上高が8.9%増、コアPBITが同15.9%増。一方、自動車事業は、売上高が同15.2%減、コアPBITが同21.4%減。
- インダストリアル事業、自動車事業ともにオーストラリアと中国が堅調に推移。中長期的には中国の高級車需要増が追い風となる。

What is the news?

8/27発表の2020/6期4Q(4-6月)は、売上高が前年同期比5.4%減の88.21億MYR、営業利益に持分法投資利益を加えた税引前・金融収支控除前利益(PBIT)が同14.2%減の3.15億MYR、純利益が同3.8%減の1.77億MYRとなった。ただし、金融資産の公正価値に係る変動損益ほか一時的要因の影響を除くコア純利益は同2.9%増の3.23億MYRと実質増益だった。自動車事業がコロナ禍へ対応した政府による移動規制の影響を受けて減益となったが、鉱業・建設セクターへの建設機械の引渡し好調だったオーストラリアに加え、米キャタピラー社からのインセンティブが寄与した中国(香港・マカオ・台湾を含む)がインダストリアル事業の増益に寄与し、コア純利益では増益を確保した。

セグメント別の業績は以下の通り。①インダストリアル事業は、売上高が前年同期比8.9%増の41.01億MYR、コアPBITが同15.9%増の2.33億MYR。地域別では、中国が同30.9%増収、オーストラリアが同6.4%増収だった。②自動車事業は、売上高が同15.2%減の46.42億MYR、コアPBITが同21.4%減の2.20億MYR。地域別では、オーストラリアが同29.0%増収、中国が同3.1%増収だった一方、マレーシアが同40.8%減収、シンガポール・タイが同73.1%減収だった。③ロジスティック事業は、売上高が同26.1%減の5,100万MYR、コアPBITが同33.3%増の800万MYR。④ヘルスケア・その他事業は、売上高が同58.8%増の2,700万MYR、コアPBITが前年同期の▲800万MYRから1,800万MYRへ黒字転換だった。

How do we view this?

セグメント別アウトックによると、インダストリアル事業は、6月末時点の受注残高が前四半期末比9.0%減の22.22億MYR(前年同期比6.7%減)であるなか、オーストラリア含むオセアニア、中国、シンガポール、マレーシアの各地域でコロナ禍対応の経済対策に伴うインフラ建設需要による受注増が期待される。自動車事業は、中国の2020/6期1-3月が同22.2%減収だったのに対し、4-6月が同3.1%増収と回復に転じた。中国では高所得者層が増加しており、中長期的にも高級車需要の拡大による業績の後押しが期待されよう。2021/6通期の市場予想は、売上高が前期比2.8%増の379.71億MYR、当期利益は同32.9%増の10.89億MYRである。

業績推移

※参考レート 1MYR=25.6円

事業年度	2018/6	2019/6	2020/6	2021/6F	2022/6F
売上高(百万MYR)	33,828	36,156	36,934	37,971	39,515
当期利益(百万MYR)	1,971	948	820	1,089	1,147
EPS(MYR)	0.28	0.14	0.12	0.16	0.17
PER(倍)	8.36	16.71	19.50	14.63	13.76
BPS(MYR)	2.11	2.16	2.20	2.29	2.36
PBR(倍)	1.11	1.08	1.06	1.02	0.99
配当(MYR)	0.06	0.09	0.09	0.10	0.11
配当利回り(%)	2.56	3.85	3.85	4.27	4.70

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(MYR)	0.10	(予想はBloomberg)
終値(MYR)	2.34	2020/9/15

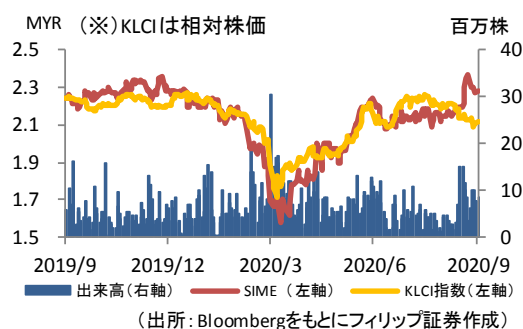
会社概要

1910年にスコットランドの冒険家ウィリアム・ミドルトン・サイム、イングランドの銀行家ヘンリー・ダービーにより天然ゴム栽培企業として設立。現在は、インダストリアル事業、自動車事業、ロジスティクス事業、ヘルスケアの4事業を営む。

①インダストリアル事業は、重機・建設機械ビジネスのリーダーとして、キャタピラーをはじめ幅広いブランドを扱うほか、ソリューションサービスも提供する。②自動車事業は、BMW、ジャガー、ランドローバー、ボルシェなどに代表される高級ブランドから、フォードやヒュンダイなど一般向けブランドなども手掛ける。輸入・組立から流通、小売、レンタルに至るまで、自動車ビジネスのあらゆる面に積極的に関与している。③ロジスティクス事業は、中国山東省の伊坊港の主要オペレーターであり、済寧大運河沿いに3つの主要な港を所有している。④ヘルスケア事業は、マレーシアとインドネシアで展開しており、この地域の医療の最前線の先駆的なヘルスケアを提供している。

企業データ(2020/9/16)

ベータ値	1.00
時価総額(百万MYR)	19,915
企業価値=EV(百万MYR)	18,682
3か月平均売買代金(百万MYR)	11.7



主要株主(2020/9)

1. AMANAH SAHAM NASIONAL BHD	45.54
2. EMPLOYEES PROVIDENT FUND BOARD	10.68
3. YAYASAN PELABURAN BUMIPUTRA	7.31

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

笹木 和弘
 kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。